

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	NPO法人越後妻有里山協働機構	
施 設 名	越後妻有「上郷クローブ座」	
助成対象活動名	公演事業	
内定額（総額）	4,382	(千円)
公 演 事 業	4,382	(千円)
人材養成事業		(千円)
普及啓発事業		(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ネオンダンス公演「パズル・クリーチャー」	2018年9月15日、16日	演出・脚本＝松井周 主演＝片桐ハイリ 出演＝野津あおい、日高啓介、稲継美保、横田僚平、伊藤キムほか	目標値	320
		越後妻有「上郷クローブ座」		実績値	240
2	サンプル「自慢の息子」	2018年8月31日、9月1日、2日	振り付け: Adrienne Hart パフォーマー: Performers: Mariko Kida, Luke Crook, Carys Staton	目標値	640
		越後妻有「上郷クローブ座」		実績値	479
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	960
				実績値	719

## 【妥当性】

### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

本事業の公演が行われた越後妻有「上郷クローブ座」は「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」におけるパフォーミングアーツの拠点として構想された。パフォーマーが自然豊かな地域で滞在しながら、作品を制作し上演できるこの施設は、地域におけるパフォーミングアーツの可能性を探り、都市と地域の交換の場となることを目指している。

本事業において世界的評価を受けるパフォーミングアーツ2公演を過疎化が進む越後妻有地域で行うことにより、地域住民に文化体験の機会を創出すると共に、都市からの多数の来訪者を地域に呼び込むきっかけとなった。また地域と両公演団体との交流を通して、地域の活性化に寄与したということが出来る。

ヨーロッパを拠地とするネオンダンス や、本公演後に劇団サンプルがフランス・国立演劇センタージュヌビリエ劇場公演を行うことにより、上郷クローブ座の事業の国際発信するという事業計画を遂行することが出来た。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

アーティストが長期滞在し、公演制作を行ったことにより、地域との交流に深化を見ることが出来る。2013年から越後妻有地域に関わる劇団サンプルは、本事業実施滞在中も地域の夏祭りに参加し地域との交流を深め、演劇の演出に地域の特色を取り入れることにより、当地ならではの公演を実施した。

またアーティスト長期滞在による地域経済への効果も見ることができ、継続的な取り組みにより地域での施設、活動の認知度向上が見られる。

## 【有効性】

### 自己評価

目標を達成したか。

本事業2公演を通して、目標700人に対して、719人を動員することが出来た。公演後に実施したアンケートにおいても概ね好評を得ることができ、一定の成果をあげることができたと言える。

また大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2018期間中におけるパフォーミングアーツの拠点施設として国内外に活動をアピールすることに成功した。本公演のためにイギリスから招聘したネオンダンスは、瀬戸内国際芸術祭2019で公演を予定しており、本公演が評価されての再来日公演となる。また劇団サンプルは「ジャポニスム2018：響きあう魂」参加作品として2018年10月5日から8日にフランス・国立演劇センタージュヌビリエ劇場にて上演し、本劇場での公演が国際的な位置づけになったということが出来る一助となった。

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

2公演とも事業期間、事業費ともに計画通りに実施することが出来た。

劇団サンプルは8月13日～30日滞在し、期間中4回公演の計画、2018年8月31日(金)～9月2日(日)3回公演(公演準備に伴う滞在：8月13日～9月3日)で実施となった。

ネオンダンスは、9月3日～14日滞在し、15日、16日の2公演を計画し、実施も計画通り行うことが出来た。

2公演合計の補助金額の計画時4,202千円に対し、助成4,382千円の交付を頂き終えた。

## 【創造性】

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

越後妻有「上郷クローブ座」はパフォーマーが自然豊かな地域で滞在しながら、作品を制作し上演できるこの施設は、地域におけるパフォーミングアーツの可能性を探り、都市と地域の交換の場となることを目指して設立された。今回の2事業を通して、設立趣旨を体現する取り組みを実施することができた。ネオダンス公演においては、身体的な表現を用いて、日英手話通訳と音声による解説を取り込むことで、視覚・聴覚の障害者を含む多くの鑑賞者が楽しめるパフォーマンスを実施した。過疎化が進む地域に、ユニバーサルに観覧することのできるパフォーミングアーツを公演出来たことは、地域への大きな影響をもたらした。

劇団サンプルにおいては、2013年から地域に関わり公演を続けてきたが、本事業での公演を通して地域交流の深化ももたらした。

本事業のディレクターであり、館長を務める北川フラムは、越後妻有大地の芸術祭アートトリエンナーレの総合ディレクターを務めており、アートを通じた地域活性化は国内外で高い評価を得ている。（2018年度「文化功労者」に選出）本事業も大地の芸術祭のプログラムの一環として実施され、上郷クローブ座の過疎地域におけるパフォーミングアーツという取り組みを国内外にアピールする機会となった。

## 【創造性】

自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

## 【持続性】

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

越後妻有「上郷クローブ座」は、地域住民との協働運営がなされている。本事業においても、設営、運営で多大な貢献を頂いた。運営が地域とともになされること、アーティストと地域住民の交流は、持続的な運営を後押しする一助となった。

本事業で公演したネオンダンスが瀬戸内国際芸術祭2019でパフォーマンスを行い、瀬戸内国際芸術祭で演劇を行う団体が2020年度公演の計画など、地域芸術祭広域でのネットワーキングの形成を促進することが出来た。